

最短60分からのかんたん施工で、もっとあたたかく快適に。

YKK  
ap

# 冬リフォームのススメ



窓の結露を  
へらしたい

暖房費を  
おさえたい

あたたかく  
過ごしたい

お風呂の寒さ  
対策をしたい

玄関の寒さを  
解消したい

雪からクルマを  
守りたい



窓の結露をおさえて  
スッキリ家事楽。



エアコンの仕事減らす窓、  
それが「断熱窓」。



窓の断熱リフォームで、  
住まいの保温効果をアップ。



窓からの冷気をおさえ、  
バスタイムを快適に。



断熱ドアや囲いで  
外の冷気から玄関をガード。



積雪対応カーポートで  
冬の朝をグンと時短。

※商品の色は、印刷の特性上、実物と多少異なる場合がありますのでご了承ください。

## ひとつの窓で実感！窓枠やガラス選びの大切さ。

築20年  
全面リフォーム後、窓のリピートリフォーム

case

WINDOW



Before



Before



Before



After



After



After

キッチン横の掃き出し窓。こちらもアルミと樹脂の複合窓の型ガラスタイプ。

ダイニングも、断熱性の高い窓に。4枚建が2枚建になったので、視界も良好！

キッチンにある出窓風の窓は、外部格子はそのままに、アルミと樹脂の複合窓にリフォーム。見た目を変えず断熱性は大幅アップ。

### ＼結露のない家に！／

「地震に強い家になり、断熱材のおかげで冬の室温は朝起きたときにも10℃を下回ることがほとんどなくなり、とても暖かい。随分快適にはなりましたが、窓枠の結露が悩みの種でした」と教えてくれたのは奥様。複層ガラスへの変更によりガラス面の結露は解消されても、新築当時のままのアルミ枠の結露はおさまらず、さらに、長年単身赴任をしていたご主人が帰宅し、ふたり住まいになったことで、その結露が増えたのだという。実は前回のリフォームでMさんは、1か所だけ窓リフォームをした。それは2階の書斎の窓。「もともと雨戸のない大きめの窓で、風の当たる位置にあったので、丈夫な窓にしてもらおうとそこだけは窓交換してもらったのです。」壁は壊さず、古い窓枠の上から新しい窓枠をかぶせる工法で、一気に断熱性の高い窓にリフォームした。」すると、家の中でその窓だけは結露が起こらなかつたのです。ガラスはもちろんですが、フレームにも結露がなく、これはすごい！と驚きました。」この窓リフォームで、窓の素材を正しく選ぶことの大切さを目に見える経験として実感したMさん。「これからもずっと、冬がくるたび結露を掃除する毎日が続くのかと思うと憂鬱でした。築20年を超えて窓まわりの部品の劣化も目立ってきたこともあり、思い切って2度目のリフォームを決めました。」長年の悩みだった結露を一気に解決する方法として、今回は全面的な窓のリフォームを行ったという。「これから迎える冬、結露の心配がなくなることはもちろん、もっと暖かく快適に過ごせるようになると思うと、ホッとします」



※青い部分が断熱性の高いアルミと樹脂の複合窓にリフォームした窓。

### 一冬越して

#### ●結露の出方や窓枠の冷たさの違いを実感

「窓をリフォームして、大きな悩みの種だった結露が、ずいぶんと解消されました」と語るのは、家中の窓リフォームをして初めての冬を過ごしたMさん。住まいの付近は、冬の最低気温が0℃近くになる日もあり、無暖房時の朝の室温が10℃を下回る日も何日かあるという環境。既存の窓には、すでに複層ガラスを使用していたため、問題の結露は主にアルミの枠に起こっていたが、アルミと樹脂枠の複合窓にかえたことで、かなり冷え込んだ日を除いては結露が起こらなくなった。耐震・断熱工事を済ませていたこともあり、部屋の暖かさが段違いに変わったとまでは実感できていないというが、「階段など一部の窓は古いアルミサッシのままですが、そちらと新しい窓を比べると、結露の出方には、はっきりと差があるのがわかります。」窓枠に触れてみても、冷たさに明らかな違いがあるという。「ですから、部屋も暖かくなっているのだと思います。」古く劣化も気になっていた窓から新しい窓になり、冬中、結露掃除の手間から解放されたMさん。総合的なリフォームで、夏涼しく、冬暖かい家を手に入れた。



2階のこだわりの出窓には、内窓を採用。窓の個性を生かしたリフォームを選択できるのが嬉しい。

### ＼工事はたった2日間／

自宅の窓の多くを、アルミ窓から樹脂窓またはアルミと樹脂の複合窓に入れ替えた明石市のMさん。壁を壊して窓枠を外すことなく、室内側から工事ができる窓リフォームで、8か所の窓を入れ替えるのに要したのは、たったの2日間。工事が終わってみると、日の当たる南の窓辺が暑くならないことに驚いたそう。Mさんが窓をリフォームするのは、実は今回が2回目。2014年、ご主人の定年を目前に今後の生活をより快適にするため、築20年の自宅を全面リフォームした。阪神・淡路大震災を経験したこともあり、そのときのリフォームでは耐震性を重視。加えて断熱対策として、壁や天井の断熱材を入れ替え、窓はガラスだけを、古い単板ガラスから複層ガラスへと入れ替えた。

## 窓を替えて風通しのいい部屋に。

築23年  
2年前にも別の窓を複層ガラスにリフォーム

お悩み：  
大きなFIX窓



〔外観〕



〔内観〕



### ＼開け閉めできない大きなフィックス窓が、外と中をつなぎ、人も風も通る窓に大変身！／

Kさん邸では、ダイニングからテラスに面した壁いっぱい一枚ガラスの大きなフィックス窓を、樹脂枠+Low-E複層ガラスの引違い窓にリフォームした。特殊なサイズの窓だったため、なかなかリフォームに対応してくれる先が見つからなかったのだが、幅広いサイズの窓リフォームに対応してくれる業者に出会い、この7月にリフォームを実施。工事はなんと3時間ほどで完了した。  
「それぞれの家に合わせて、ミリ単位でサイズを指定できるのも、大きな利点です」と、窓リフォームを担当したSさん。  
「窓が開くようになり風通しがよくなりました。このあたりは山が近くて寒い土地なので、枠もガラスも替わって冬が暖かくなれば嬉しいですね」とお母様が語ってくれた。

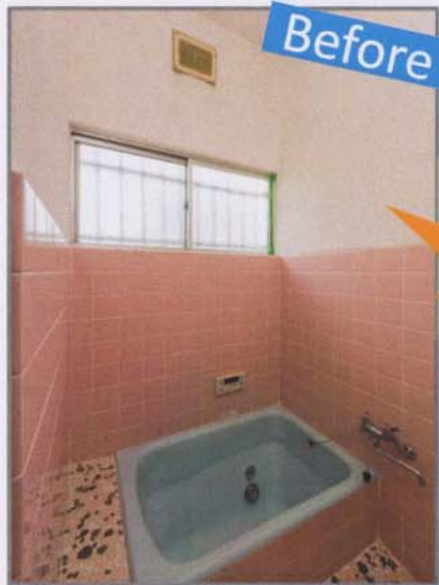
大きな窓でも、樹脂窓だから暖かくて快適ね～



### 寒かった風呂場が体にやさしい癒しの空間に。

築30年  
浴室や洗面所、トイレは湿式工法のタイル張り

case  
BATHROOM



Before



After

#### ＼寒いお風呂は体に悪い／

築30年を超えるKさんの住まいは、浴室や洗面所、トイレは湿式工法のタイル張りだった。「自分たちは慣れてしまっていたけれど、独立して家を出た子どもが孫を連れて帰ってくると「寒い、寒い」というもので・・・年齢的にも、風呂場が寒いのは体にもよくないと聞き、水まわりのリフォームを決めました」とKさん。浴室はタイルを剥がしてシステムバスに。「窓から冷気が入ってくるので、断熱性の高い窓選びを心がけ、窓の種類や機能についても調べました」というKさんが選んだのは、アルミと樹脂の複合窓。「システムバスにしたこともあり気密性も上がったから、暖かい風呂場になったと思います。カバー工法で少しだけ窓は小さくなったけれど、それでも暖かさには変えられない。満足しています」

外からやってくる冬の冷たい空気を窓がシャットアウトしてくれるから暖かくて快適なお風呂タイム♪



あたたかいお風呂だと、寒い冬もお風呂の時間が楽しみだね～！



タイル張りの浴室から、システムバスに。窓はアルミ製からアルミと樹脂の複合窓に変更した。「窓については、自分で調べたり工務店に話を聞いたり、けっこう追究しました」とKさん。

#### ＼寒いお風呂はヒートショックが心配・・・／

家庭内の死亡事故で最も多いのが冬場の入浴時によるヒートショックといわれています。急激な温度の変化がカラダへの大きな負担となって起こります。脱衣所・浴室の窓など、空間の断熱性を高めることによって軽減することが可能です。



#### ヒートショックとは？

ヒートショックとは、急激な温度の変化によって血圧の乱高下や脈拍の変動が起こること。特に気をつけたいのが冬のお風呂。脳卒中や心筋梗塞を引き起こす危険性があります。



※商品の色は、印刷の特性上、実物と多少異なる場合がありますのでご了承ください。